



夜、窯の温度が停滞する。この状況を脱するため、薪を、雑木から松に代える。ロストルも試しにつくってみる。いよいよ煙突をつくり、段々と高くする。深夜1時半、ようやく1000°Cに到達。目標の1150°Cまで、あと少し。上がらない。午前3時半、窯の閉塞をはじめ、窯焚きを終える。